

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

日産化学株式会社（証券コード: 4021）

【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
発行登録債予備格付	AA-
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- 機能性材料、農業化学品を中核とするファインスペシャリティ化学メーカー。機能性材料はディスプレイ材料と半導体材料が主力。農業化学品は除草剤をはじめとする農薬のほか、動物用医薬品を手掛ける。研究開発を重視し、売上高研究開発費比率は長年 7～9%程度と高い水準を確保する。コア技術は「微粒子制御」「機能性高分子設計」「生物評価」「精密有機合成」「光制御」の 5 つで、これらをベースに先端分野やニッチ分野に経営資源を集中的に投入することで、主力製品において高い競争力を維持している。
- 強固な事業基盤を背景に持続的に利益が成長している。機能性材料では顧客ニーズを的確に捉え利益に結びつけており、技術高度化への対応によってプレゼンスも向上させている。また、農業化学品では高い研究開発力で自社開発剤の上市や剤の買収・導入を継続的に進め、着実に利益水準が高められている。収益性も高く、引き続き、業績は堅調に推移すると考えられる。積極的な株主還元を実施しながらも財務基盤は長期にわたって健全な状態が維持されており、当面、財務リスクが高まる懸念は小さい。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25/3 期の営業利益は 568 億円（前期比 17.9%増）となり、2 期ぶりに最高益を更新した。26/3 期会社計画では営業利益 590 億円（同 3.8%増）を予想する。研究開発費の増加や前期に対し円高を前提とすることなどがマイナス要因となるが、引き続き、主力 2 セグメントが業績を押し上げる。特に機能性材料は、生成 AI の市場拡大に伴って先端製品向けの半導体材料の需要が伸長することがドライバーとなる。農業化学品は既存製品の安定した販売に加え、新製品の拡販が進むことがプラス要因となる見込み。
- 自己資本比率は 18/3 期末以降、70%台で推移している。近年の総還元性向は 80%前後と高水準で、利益成長に比べると内部留保の積み上げは緩やかである。ただし、自己資本は 2,000 億円台前半を確保しており、事業リスクや投資負担に対して一定の耐久力を備えている。現中期経営計画（26/3 期～28/3 期）のキャピタルアロケーションでは、研究開発や設備投資、株主還元などの資金需要は営業キャッシュフローで賄い、M&A などの戦略投資が発生する場合は外部資金調達で対応する方針となっている。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：日産化学株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2024 年 6 月 13 日	2029 年 6 月 13 日	0.764%	AA-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	500 億円	2024 年 4 月 5 日から 2 年間	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	500 億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2025 年 12 月 16 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：殿村 成信
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「化学」（2022 年 6 月 15 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 日産化学株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会が定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル